

1 教育目標

心豊かなたくましい子ども ○げんきな子 ○やさしい子 ○気づく子

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標

○「教育課程・指導」「安全教育・危機管理」「園内研修の充実」 ○基本的な生活習慣の形成
○聞く・話す態度の育成 ○道徳性の芽生えを培う

A:達成されている(5点) B:概ね達成(4点) C:もう少し努力を要す(3点) D:努力を要す(2点)

評価内容		前年	今年	○改善された点や工夫した点 ●今後改善していく点
改善する力 (ねらいに沿って保育を適切に展開し 教育課程)	①ねらいに沿った保育展開が適切にできている。 (好きな遊び、学級全体の活動、1日の生活の流れ等)	4.1	4.2	○週案を通してのPDCAは上手くできていた。 ○保護者との情報共有が出来たと思う。 ○特別支援児との関わりが増え、理解が出来たと共に個々に合った援助を行ったことで成長した姿がみられた。 ●目の前の行事に気をとられすぎているので、逆算して余裕が持てるようにする。 ●長期計画の見直しをもっと良く出来たらと思う。
	②年間指導計画は、効果的な実践ができる様に作成されている。	4.4	4.3	
	③園計画に沿って効果的な学級経営を行っている。	4.4	3.8	
	④マネジメントサイクル 計画(P)・実行(D)・評価(C)・改善(A)を行っている。	3.7	4.0	
	⑤聞く・話す・やる気・工夫等の 学びの育成 (動と静のバランス・主体性を育む等)	4.1	3.7	
	⑥特別支援に理解を深め、一人ひとりの育ちにあった支援を実施しているか(インクルーシブ)	4.3	4.3	
	⑦見通しのある保育展開が適切にできている。 (長期計画を見通しながら具体的な目標を達成していく)	4.3	3.7	

整える (幼児の健全な育成の為の環境を 環境の構成)	①掲示物、名前の表示などは人権に配慮したものとなっている。	5.0	5.0	○季節に合ったコーナー展開や絵本を季変えていくことで子ども達も興味を持つ事ができた。 ○トイレのスリッパの散乱時は整頓について知らせる事で意識して並べるようになった ●各クラスの安全や衛生管理は意識して行えたが、子ども達が安全性や部屋を綺麗にする事の大切さに気付き意識して取り組めるような援助や促しをもっと行えたら良かった
	②朝の環境構成ができている (保育室の換気、遊びの場、必要な教材の準備など)	4.4	4.3	
	③保育室の美的環境・保健衛生に配慮している。 (整理整頓、手洗い場、ゴミ箱、ピアノの上)	4.6	4.2	
	④絵本棚に置く絵本などを幼児の興味・関心や季節に応じて変化させている。	4.1	3.8	
	⑤季節に応じて幼児の作品や自然物を取り入れて構成し変化させている。	4.3	4.3	
	⑥動植物に興味や関心が持てるように栽培をしたり、環境を整えて記録をとっている。	3.7	4.1	

ひとりひとりの幼児の特性や発達、ねらい等に適した援助を行う(援助)	①明るい笑顔で幼児を向かえ、一人一人とコミュニケーションをとることに勤めている。	5.0	4.7	○挨拶を元気良く行い、子どもたちの手本になるよう取り組んだ。 ○子どもたちが片付けを行えるように写真を掲示する事で自ら行動するようになった。 ●絵の指導が上手くできなかったので工夫して行きたい。 ●製作に苦手意識がある子の対応を学びたい。
	②明るく元気に園児と遊び、活動が発展するような工夫や構成を考えている。	4.7	4.4	
	③歌の指導や楽器の扱い方の指導ができている。	4.6	4.4	
	④遊びの片付けや身辺自立に向けた生活習慣に関わる指導が適切にできている。	4.6	4.3	
	⑤絵・製作の指導や用具の扱い方の指導ができている。	4.7	4.1	

保護者に適切に対応し、協力していく力 (保護者との連携)	①保護者に進んで挨拶をしたり話しかけたり、コミュニケーションをとるように努めている。	5.0	4.6	○自ら進んで話し掛ける事で、保護者の思いや困り感を知る事が出来、アドバイスや説明をする事が出来た。 ●ホワイトボードを出すのが遅れたり、写真を出せなかった事がある。
	②保護者会や個人面談などに資料を準備し臨み、話し合いができるようにしている。	4.3	4.6	
	③クラス便りやホワイトボードにて遊びの様子や成長を共感できる様に伝えている。	4.3	4.8	
	④保護者からの質問に誠実に対応し、適切な説明に努めている。	4.4	4.7	

学び・発達の連続性を 見通す力(保・こ・小の 連携)	①小学校との連携を図るため、具体的な取り組みを行っているか	4.5	4.1	○小学校の司書の先生や地域の方を招いてゆし豆腐作りをする等、沢山の関わりが増え子どもたちに良い刺激になっている。 ●掃除に来てくれる5年生との関わりがあまり持てなかった。
	②地域の保育園や小学校と連携を図り、就学前教育に向けて交流活動に努めている。	4.5	4.0	
	③地域を学習の場にしたり、地域の人材を活用したりしている。	4.0	4.2	
	④小学校就学までの連続性を考えて、見通しを持った保育・教育の取組みをおこなっている。	4.1	4.3	

学級経営に関わる事務を処理する力(学級事務)	①学級事務の内容や取り扱いについて把握できている(出席簿、健康診断票など)	5.0	4.6	○指導要録の入力は少しずつ計画的に行ったので、あまり負担にはならなかった。 ●記憶があいまいになる事もあり、記録をこまめに取らなければと感じた。
	②子ども園児指導要録、抄本に記載する事項および記入・提出時期を把握している。	4.7	4.7	
	③公簿(幼児出席・幼児健康診断票・指導要録等)を適切に記録し、保管している。	4.7	4.6	
	④情報の共有化がなされ、周知する文書・報告等を速やかに伝達している。	4.5	4.2	

園務において企画・立案する力(園務分掌)	①担当分掌の仕事を企画立案し、責任を持って遂行している。	4.3	4.3	○全行事に携わるよう心掛け、他職員に確認するよう努力した。 ●園務に関しては責任を持って行っているが、リーダーシップまでには至らない。
	②園行事の準備や指導に積極的に取り組んでいる。	4.7	4.2	
	③計画書・報告書・記録などの作成に際して、ゆとりをもって提出している。	4.0	4.0	
	④園務分掌はリーダーシップを発揮して、園務の処理に当たっている。	3.8	3.6	

上司や同僚と適切なコミュニケーションを図り、円滑に園務を遂行できる職員間の連携)	①自分から進んで職員に明るく挨拶をしている	4.5	4.6	○行事やクラスでの困り感を相談し、改善策を見つけ改善出来るようになった。 ●自分の仕事でいっぱいになり他の職員を手伝うことが出来ない事がある。
	②悩みやわからないことを園長や主幹・他の職員に自分から相談している。	4.7	4.8	
	③自分から積極的に他の教職員との協力・共に努めている。	4.1	4.2	
	④研修を通じて学んだ知見を園内で共有するよう努めている。	4.3	3.8	

幼児が安全に過ごせる環境を整える力(安全教育)	①保育室・遊戯室・園庭等の使用の前に安全点検や確認をしている。	5.0	4.4	○ヒヤリハットの連絡簿が出来た事により、勤務時間外や他のクラスで起きた事もすぐ把握出来るようになった。 ●教材室や遊戯室等、教室や園庭以外の場所も整理整頓を心掛けて行きたい。
	②園児の事故や怪我に対して園長に報告し、職員間で連絡を取り合い迅速に対応している。	4.6	4.7	
	③災害時の避難方法について把握できている	4.6	4.5	

(関係諸機関との連携) とれる力 必要な機関と連携が	①特別な支援を必要とする幼児への対応について、関係諸機関の連携を取る。	4.4	4.5	○平和集会やゆし豆腐作り、花の苗植え等、地域の方と関わりを持ち、地域行事への参加や児童館、公民館等、地域の場の活用も行っていった。 ●地域の公共施設の情報が入ってくる為、収集はしていない。
	②家庭や地域での遊びや生活も考慮して指導計画の立案や指導を行っている。	4.3	4.4	
	③地域で活躍している方、地域の行事、公園、児童館、図書館、公民館など地域の資源を活用するための情報収集に努めている。	4.0	3.8	

力 (自己研鑽) 保育教諭として求められる能	①具体的に保育を構想する力や実践力を磨く為、自ら生活体験や自然体験、社会奉仕体験を積むように努める。	3.7	4.0	○絵本の読み聞かせの時間を確保し、運動遊びが苦手な子には個別に教えるよう心掛けた。 ○職員同士の公開保育を実施し振り返りを行う事で研鑽に努めている。 ●声掛けの言葉を考え、子どもたちが意欲を持たせるようにしたい。
	②指導力を高める為、運動遊びや読み聞かせ等自らの得意分野の向上・開発に向け取り組んでいる。	4.3	4.3	
	③インターネットなど情報通信技術を活用して、情報の収集や発信ができるように基礎を学んでいる。	4.3	4.2	
	④社会の変化やこども園に対するニーズの変化を適切に捉える力を身に付けるよう努めている。	4.3	4.0	

整える (教材開発) 指導に適した準備	①指導や遊びに必要な教材を自分で作っている。	4.3	3.7	○行事で使う教材を作り子どもの好奇心をかきたてる工夫をした。 ●その時々の子どもの発達に応じた遊びが行えるようにしていきたい。
	②園児の発達や活動に沿った指導や教材の準備ができています。	4.3	4.2	
	③ピアノ。演奏の技術が高まるように練習している	4.3	4.3	
	④自分が得意とする技術をより向上、開発するよう努めている。	4.3	4.0	

◇職員の自己評価からの取組み 《改善方針・改善策》

- 学級経営や行事・活動への取り組みの見直し
 - ・長期、短期の指導計画を立てながら見直しを持ち、目標達成に向かって進められるようにする。
 - ・職員同士協力体制や連携を取り、リーダーシップが取れるようにする。
 - ・行事への取り組みへの認識の違いがある為、情報共有しながら再確認し、取り組んでいく。
- 学びの育成
 - ・園内外研修や互いの公開保育を行う中で学んだ事を実践し、保育の見直しを行い、資質向上を図る。
- 環境の充実
 - ・環境に対しての取り組みを強化し、子ども達の育ちや発達を理解した上で室内外の環境構成していく。

◇園の動きやクラス運営・意見・感想など

- 環境作りの面で勉強不足だと感じる事があったので、次年度は環境を意識していきたい。
- クラスを運営していく中で、保育教諭がやるべき仕事を分担する事で、スムーズに運営出来ている。
1人だけが負担する事が無かったので良かった。
- 各クラスで保育をする中で、各年齢の発達の違いや発育の違いを感じる事が出来、他の職員の保育を近くで見ることが出来て、とても学びの多い1年でした。もっと、保育環境の整備や各行事のサポート等も出来たら良かったと反省点も多いので、来年度に活かしていきたいです。
- 慢性疾患のある園児についての対応はとても緊張したが、特別な状況が起きずほっとしています。
特別な支援をしなければいけない園児がいた場合の他児の対応の仕方は難しいと感じました。
今年度は、行事の見直しを行ったので、次年度の職務の負担軽減に繋がる事を期待しています。
- 園行事への取り組み方の意識の違いを感じる。もっと、改善すべきだと思う。